



こもろ

市議会だより

12月定例会

No. **173**
平成 30.1.24



御影天領太鼓のみなさん（区の新年会で演奏）

あけまして
おめでとう
ございます

主な内容

- 12月定例会の概要 2～3 ページ
- 常任委員会審査報告 4～5 ページ
- 一般質問（15名） 6～13ページ
- 小諸に活かしたいこと 13～14ページ
- 予算決算委員会の設置と
議員定数の検証結果 15ページ
- ぼいす～キラキラ小諸人～
傍聴席・編集後記 16ページ

複合型施設関連予算を可決

「市民に丁寧な説明を」

平成29年第5回12月市議会定例会が11月28日から12月19日までの22日間の日程で開催されました。本定例会では、市長から補正予算、条例改正、人事の32件が提案されそれぞれ可決、同意しました。

また、議員から各省庁への意見書の提出を求める発議等4件が提出され、すべて可決しました。

主な議案

◆補正予算

【一般会計】

「複合型中心拠点誘導施設整備構想」関連予算
1千万円を可決

コンパクトシティの理念に基づき、まちづくりの柱となる中心市街地の活性化に向けた、「複合型中心拠点誘導施設整備構想」が策定されました。関連予算として、基本計画策定支援業務委託料が計上されました。

内容は、施設の種類や規模、レイアウトなど、構想を具体化するために必要な諸計画を取りまとめる業務委託です。

「小学校校舎アスベスト含有吹付け材除去工事」
関連予算6千732万円を可決

平成29年1月に千曲小学校校舎の一部にアスベストを含有する吹付け材が使用されていることが判明したことから、他の学校においても同様の状況がないか調査を行いました。その結果、坂の上小学校、水明小学校、美南方丘小学校について使用が判明し、早期に除去工事を実施するための予算が計上されました。

「都市計画税の誤課税に伴う還付金等」445万9千円を可決

都市計画区域外の建物2か所、土地1か所に都市計画税を誤課税していたことが判明したため、早期に還付手続きを行う必要があることから還付金及び還付加算金が計上されました。

以上3件については定例会最終日に提案され、

審議を行い即決しました。

平成29年10月に発生した台風21号による農道・

用水等の農業関係災害箇所

の復旧費用600万円。



土砂崩落のあった農道

【企業会計】

水道事業

新大久保配水池の本格稼働により精査した結果、不足額が発生する動力費及び退職給付金の差額、並びに消費税額の再計算による差額の増額2千30万4千円。

公共下水道事業

一般会計繰出し金の平成28年度実績の確定及び基準変更等による減額628万3千円。

◆条例

【小諸市体育施設条例の一部を改正する条例】

小諸市和田体育館を指定管理とするための改正のほか、総合運動場の多目的グラウンドの整備が本年度中に完了することから、その使用料を定めるなど所要の改正を行うもので平成30年4月1日から施行されます。

12月定例会概要／次回定例会のお知らせ

【小諸市大手門公園 有料駐車場条例】

平成30年4月1日に大手門公園有料駐車場が供用開始となることから、使用料等の必要事項について定めるものです。

【小諸市宮有料駐車場条例の一部を改正する条例】

市宮小諸駅前駐車場の料金について、大手門公園有料駐車場の料金体系と合わせるため所要の改正を行うものです。

【小諸市市税条例の一部を改正する条例】

消費税引き上げ時（平成31年10月1日）に県税の自動車取得税が廃止され、新たに「環境性能割」が創設されます。また、現行の軽自動車税を「軽自動車税種別割」とするための所要の改正を行うもので平成31年4月1日から施行されます。

人事

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

任期は平成32年12月14日までの3年間です。

●小諸市固定資産評価審査委員会委員

塩川 豊 氏（東小諸）

意見書

次の意見書を内閣総理大臣ほか関係省庁へ提出しました。

- 長野家庭裁判所佐久支部において、調査官の常駐、少年審判の取扱い及び庁舎の建替えを求める意見書

- 国連「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書

陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
陳情	NHK紅白歌合戦で映画「男はつらいよ」俳優・ミュージシャン吉岡秀隆氏（寅さん甥役）、女優・後藤久美子氏（甥の恋人役）が出演して同映画課題曲を披露、同映画の長野県内口ケ地が生中継されるよう求める陳情書	男はつらいよを長野県で唄う会 会長 小野光明	不採択
	日本政府に国連「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情	原水爆禁止佐久地区協議会 理事長 望月清泰 ピースアクション佐久 代表 望月清泰	採択

3月定例会のご案内

〓 傍聴をお待ちしております〓

次回の3月定例会の日程（予定）をお知らせします。日程については、予定のたびに変更となる場合があります。

なお、3月定例会から予算決算委員会が行われます。（※予算決算委員会設置の経過については、本紙15ページをご覧ください。）

開議時間は概ね9時からとなります。詳しくは議会事務局22・1700（代）へお問い合わせください。

次回3月定例会の日程（予定）

月	火	水	木	金	土	日
2 / 26	27	28	3 / 1	2	3	4
本会議 (提案説明等)						
5	6	7	8	9	10	11
	本会議（一般質問）			総務文教 委員会・分科会		
12	13	14	15	16	17	18
総務文教 委員会・分科会	福祉環境 委員会・分科会		経済建設 委員会・分科会			
19	20	21	22	23	24	25
	予算決算 委員会			本会議 (委員長報告等)		

委 員 会 審 査

議案審査にあたり各常任委員会で出された 主な質疑と答弁をご報告します

12月11日 福祉環境 委員会 報告

社会福祉協議会を小諸市野岸の丘総合福祉センターの指定管理者とすることを可決

質疑 受けられるサービス内容は、どのようなものになるのか。

答弁 障がい児は放課後等デイサービスや発達障害に関すること、高齢者は介護予防等に関すること、地域においては日赤の事務局もあることから、救急法に係る講習会など様々な事業を見込んでいる。

質疑 現在の社会福祉協議会の体制をみると、人的な配置が少ないのではないかと危惧するがどうか。

答弁 放課後等デイサービスについては、現在アスパラハウスで行っているので、引き続きサービスの提供は可能と考える。他の部門については11月に人員を充足させ、体制を整えたと聞いている。

小諸学舎を小諸市児童発達支援施設の指定管理者とすることを可決

質疑 サービスの内容は現在のひまわり園と比べてどうか。

答弁 事業者から、児童発達支援については、現在のサービス内容に加え、発達訓練の日数を増やしたいとの提案を受けている。また、放課後等デイサービスについては、土曜日や学校の休校日も開設するので、充実した支援を提供することができると考えている。

質疑 利用料について変更はないのか。

答弁 障害福祉サービスで原則一割負担となるほか、軽減制度もあり、これまでと変わりはない。

小諸市水道事業会計補正予算を可決

質疑 新大久保配水池の不足は電力料だけか。

答弁 当初予算は概算で見込んでいたが、4月に本格稼働が始まり、電力料の不足が生じた。それ以外の不足はない。



新大久保配水池

小諸市農業集落排水事業の設置等に関する条例を可決

質疑 宮沢・大杭地区について、今後の見通しはどうか。

答弁 地形的に公共下水道との統合は厳しいので、市町村設置型の浄化槽への変更を考えている。

12月12日 経済建設 委員会 報告

大手門公園有料駐車場条例を可決

はこもろ観光局に委託する予定である。

一般会計補正予算を可決

【都市計画費について】

質疑 都市再生整備計画事業2千100万円の内訳はどうか。

答弁 大手門公園整備費として歩道部分に1千200万円、トイレ改修等に500万円、先行取得した隣接地の建物解体費用に400万円である。隣接の建物解体跡地は当面の間、周辺商業施設向けの駐車場としての利用を考えている。

質疑 駐車台数の確保と駐車料金についてはどうか。

答弁 当初の計画どおり駐車台数45台は確保し、民間駐車場や懐古園駐車場に影響のない駐車料金にした。大型バス2台は無料の予定であり、管理

【災害復旧費について】

質疑 御影用水越流による災害復旧工事には、

答弁 該当する国庫補助金はない。今後は建物補償や土地の補償等が予定されている。

【複合型中心拠点誘導施設整備構想について】

【質疑】 施設にデマンド交通のコールセンターや駐車場の確保はできるのか。

【答弁】 駅前のコールセンターを移動し、駐車場所を確保する予定である。

【質疑】 基本計画策定支援業務委託先については、どのように決定するのか。

【答弁】 都市再生整備に関する豊富な知見や技術を持っている(株)URリンケージに随意契約で委託を行う。

【関連質疑】 基本協定書の締結が予算提案の直前だったのはなぜか。

【答弁】 独立行政法人UR機構と、(株)URリンケージの両者に様々なアドバイスをいただき、国土交通省との協議を進めてきた。今回の予算計上にあたり、改めて三者の基本協定を結んだ。



12月13日
教文総務委員会
報告

小諸市組織条例の一部
改正を可決

教育委員会に人権同和教育部門を残し、人権政策、男女共同参画部門を市長部局へ改編

【意見】 基本計画の策定に当たっては、市民に対して、納得の得られる説明と意見募集を行うこと。また、複合型公共施設として福祉施設を計画していることから、市民全体のプラスになる整備事業として、丁寧に説明をすること。

【質疑】 組織改編により、民生部と教育委員会に窓口が分かれるので、市民に分かりやすい周知が必要と思うがどうか。

【答弁】 広報紙やホームページでお知らせしていく。

【質疑】 小諸市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正を可決

障害児福祉計画策定による小諸市障害者計画等審議会設置条例への変更及び資格や経験のある地

【質疑】 地域おこし協力隊員の報酬を引き上げる改正

【質疑】 地域おこし協力隊員の報酬額が2本立てとなり、資格や経験で差が生ずるということだが、経験という部分に明確な基準はあるのか。

【答弁】 明確な基準がないため、採用に当たっては今後、基準を作りたい。

一般会計補正予算を
可決

【庁舎管理費について】

【質疑】 浅間南麓こもろ医療センターが完成し市と病院とでロータリーを使用しているが、交通誘導警備業務委託料の負担割合はどうなっているのか。

【答弁】 6対4の割合で6割を病院側に負担いただくとのことになっている。

【教育費寄付金について】

【質疑】 ピアノの購入費に充てるとのことだが、配置する学校は決まっているのか。

【答弁】 3台購入予定で、台数が少ない学校や老朽化が著しい学校から優先的に配置したい。



【小学校管理費について】

【質疑】 調査の結果アスベストの浮遊はなかったとのことだが、過去においてもなかったのか。

【答弁】 建物の劣化で浮遊の可能性が増すが、現時点でないということは過去にもなかったと捉えている。

委員会を傍聴してみませんか

小諸市議会では、会議は原則公開となっております。本会議だけでなく、各常任委員会も傍聴することが出来ます。平成30年3月議会からは、新たに予算決算委員会も設置されますので、是非傍聴にお出かけください。傍聴を希望される方は、会議当日、議会事務局にお申し出ください。なお、3月定例会の日程は3ページのとおりでです。



飯綱山公園一帯の構想をどのように考えているか 丸山正昭

質問

今後の公園一帯の構想をどのように考えているか。

市長

園内には、小諸高原美術館、歴史の広場、野鳥の森、草すべり広場、ドッグラン、そして里山制度を利用して市民の皆様と協働により植樹した「小諸八重紅枝垂れ」などがある。

自然との触れ合いや憩いの場として、住民相互のコミュニティー形成の場所として、鑑賞・学習の場として、市民の皆さまに愛着を持ってもらうことが、飯綱山公園の意義・役割と考えている。

今後、マンズワイン小諸ワイナリーを含めた小諸市北西部の観光の拠点として、小諸市にしかない「小諸八重紅枝垂れ」の桜の名所として、懐古園に次いで観光客を呼べる桜の公園になることを目指していきたいと考えている。

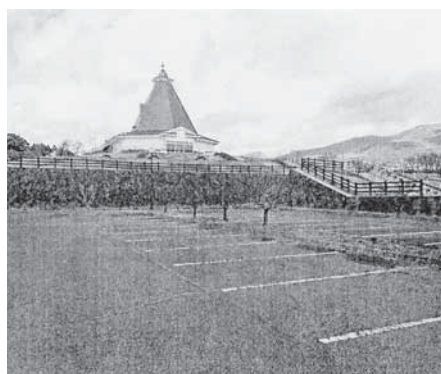
質問

指定管理者評価シートは今の内容でよいか。

市長

指定管理者制度を導入してから10年以上が経過し、指定管理者による管理運営を実施している施設も当初から比べると増えているとともに、施設の用途も多岐にわたっている。

現在運用している基準評価シートは、包括的に作成している様式が一つしかない状況であるため、毎年度行う総合評価の際に、評価を実施する所管課の意見を聞きながら、評価シートの見直しについても検討していきたいと考えている。



飯綱山公園内に休憩施設を



工場団地がない状況で企業誘致はできるのか 清水喜久男

質問

小諸市は工場団地が全て売却済みで状況で企業誘致はできるのか。

市長

現在、小諸市には企業誘致用に造成された用地はなく、民間所有地や空き工場等を紹介している。

しかし、企業誘致用の土地がないことは、商品が無い状況での営業であるので新たな産業団地は必要と考える。現在は、産業団地造成に向けた準備をしており、今年度中に場所を絞り、来年度に造成プランを作成する予定である。

産業団地の造成は多額の経費が掛かり、短期に利益を出すことは難しいが、企業立地で雇用が増え、税収面での効果も期待できるので将来に向けた必要投資と考える。

質問

小諸市の防災マニュアルは、災害に備える知識から各災害対策・ハザードマップ・非難場所が52ページで詳細に掲載されており、良くできていると思うが、細かすぎず見てももらえないという欠点がある。

市長

る。皆さんが関心を持つよう地区別に作成したらどうか。

市長

家庭用防災マニュアルの中に、市内全域の危険区域、避難場所等を掲載した。今後は活用しやすいものとなるよう他市の取り組みを参考に見直しを行いたい。

質問

行政改革で示されている民間活力活用で歳出の圧縮はできないか。

市長

指定管理者制度や公設民営等で事業を効果的に実施する仕組みを進めているが、今後も引き続き民間活力の活用を進めたい。



鯖江市の地区別災害時サポートガイドブック

一般質問



「オールこもろ」によるまちづくり

相原久男

質問

宗教法人懐古神社との「土地賃貸借契約書」「協定書」の協議について、どのような見直しがされたか。

市長

契約については、平成30年3月末で期間が満了になることから、複数回にわたり、神社代表者と協議を重ねている。例えば、今回のような自然災害による石垣の崩落等については、所有者である懐古神社が負担すべきと考える。協定書については、不明瞭な部分があるので、見直しをして書面にしていく作業が必要と考える。今後も引き続き土地賃借料並びに協定書の見直し協議を進める。

質問

家庭用防災マニュアルは、地域別・公民館別の運用マニュアルを導入してはどうか。

市長

家庭用防災マニュアルについては、あまり活用されていないと認識しており、対応策として「ごみ



小諸市家庭用防災マニュアル

カレンダー」の中に、ダイジェスト版を入れ込むなど、一年を通じて見られるように工夫したい。運用マニュアルについては、モデル地区を決め、地域協働により住民と一緒にマニュアル作成ができれば検討している。

質問

こもろをPRする備品として、市花「小諸すみれ」のピンバッジ・シールシートの活用はどうか。

市長

小諸市のPRにつながるオリジナルグッズがあると良いと考える。ニーズなどを把握しながら検討していく。



小諸市の文化財行政、小諸城址の国史跡指定は？

小林一彦

質問

小諸市には多くの歴史的資源が残っているが、近隣の市と比較して指定文化財の件数が少ないのはなぜか。

教育長

小諸市において、指定文化財の件数が少ないという現在の状況は、これまでの文化財行政に対するウエイトの掛け方が表れているのではないかと捉えている。

前回の一般質問で、文化財の保存や活用に関する基本方針の策定について議員から提言をいただいたが、平成30年度には策定を行い、先人から受け継がれてきたかけがえのない文化財の適切な保護、活用、指定等に努めていきたい。

また、教育委員会では、県、あるいは国、市による文化財の指定制度とは別に、市が認定して、登録していく仕組みを作りたいと考えており、本年度中に制度設計を行い、早速来年度からスタートができるよう準備を進めている。

小諸城址が国史跡指定を受けるための研究の進捗状況はどうか。

教育長

昨年12月定例会での提言を踏まえて、国・県の文化財担当者から指導、助言を受ける等、研究を進めてくる中で、小諸城址が国の史跡指定を受けるためには、少なくとも懐古神社が建立され、一帯を懐古園と呼ぶようになった明治の中ごろ以前の状態でなければならぬということがわかった。

このため、国の史跡の指定ではなく、往時の姿に戻さなくても可能な国の名勝の指定を目指すことが現実的であると考えている。



東山道清水駅
(白鳥純司画伯作「小諸かるた」より)



小諸城址（懐古園）を保存し、後世に伝えたい

早川 聖

台風による影響等で石垣が崩落

するなど、歴史的にも貴重な城郭遺構が失われまいよう、写真で問題箇所を指摘し改善を求めました。

質問

天守台の石垣や天守台につながる石壁がはらんで出っ張っている。この本丸の石垣は織田・豊臣期の様相を残す初期の算木積みで、長野県内において最も古い石垣と言われている。また、天守閣は金箔瓦を用いた三重の檜が存在したとも言われている貴重な天守台だ。こういった石垣の状況をつぶさに見て、市長と建設部長の感想を聞きたい。

市長

今までよく崩落しなかったと感じている。

建設部長

近年、石工という専門の石を積める方もいない、材料も確保できない中で、段々はらみが出てきているということとは全国的な課題。このままの形を残しながら維持するため、今後は工法も含めて考え



小諸城 天守台 石垣のはらみ (浮き出した目立つ石)

る時期だと思っている。

質問

三之門は指定重要文化財の全国的に珍しい寄棟づくりの構造。石垣は、小諸城内で唯一の「打ち込みみぎ」と言われる積み方で崩れかかっている。熊本城では記録としての石垣カルテの作成が進められているが、そういうものを作成すべき時ではないか。

教育長

崩れる前にしっかりと記録をとっておくというのは大事。長野大学等の協力もいただけるかもしれないので、多方面の協力をいただきながら進めていきたい。



SDGsの理念を反映したまちづくりを

柏木今朝男

質問

SDGs（エスディージーズ）

持続可能な開発目標は「誰ひとり取り残さない持続可能な社会の実現」を目指した国際目標です。本市においても、SDGsの理念を各種計画に反映させ、積極的な推進でまちづくりや地方創生に活かしていくべきと考えるがどうか。

市長

取り組める部分については、事業実施計画の段階で研究したい。

質問

オリンピックを契機としたインバウンド観光客がもたらす経済効果は大変に大きい。近隣市町村との連携でテーマ性やストーリー性のある観光地の新たなモデルコースを策定し、小諸の魅力を戦略的にPRすることが重要であると考えているがどうか。

経済部長

これからインバウンド観光は非常に重要との認識から、取り組みをスタートしている。広域、県、国との連携を図り対策を取りたい。

質問

観光振興策として「日本一のアサギマダラの里こもろ」というような壮大なキャッチフレーズを掲げ、一大プロジェクトとしてオーラル小諸で取り組んではどうか。

市長

アサギマダラだけでなく「蝶や昆虫が集まるまち」というような一つの大きなテーマ性をもって国内外に訴えていくことはできると思う。市民の皆様も各地域でそれぞれの取り組みをされているので、うまく連携し、協力しながら小諸市を盛り上げていく、その牽引力となればと思っている。



フジバカマの花に舞うアサギマダラ

一般質問



誰もが暮らしやすい社会の実現のために

土屋利江

質問

高齢者を地域で支えるための地域包括ケアシステムの構築を推進しているが、障がい者などあらゆる困難をもつ人々を地域で支えていく「地域共生社会」の実現に向けて、小諸市の課題はどうか。

市長

助け合いの地域づくりには、人材の育成やボランティアの確保が課題である。また、公的福祉サービスの一元化は、相談ニーズに添えられる職員の育成が課題となる。

質問

昨年、障害者差別解消法が施行されたが、まだまだ認知度が低い。「信州あいサポート運動」は、地域の誰もが障がい者とともに生きるサポーターを増やす運動である。市民への周知と推進はどうか。

市長

広報やホームページにより周知を行ない、来年度は市民向けの研修会を計画している。地域や団体企業などには、信州あいサポート推進委員を県から派遣していただ

き研修会の働きかけをしていく。

質問

ヘルプマークは、義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、外見では障がいや病気がと分かりにくい人が、援助や配慮を周囲の人に知らせることができるマークである。導入の考えはあるか。

市長

広域利用という観点から全県で取り組むことが望ましいため、市長会で県に要望し、前向きに検討すると回答を得ている。難病の方の情報は、県が管理しているので、県と連携して取り組んでいく。



マイナンバー制度は、リスクが大きい制度

柏木博美

質問

日本年金機構から125万件の個人情報が出し、民間企業等からも大量に流出している。ネット社会の現在、サイバー犯罪等を含め個人情報が悪用される不安がある。警察捜査に利用されたことも判

明するなど情報管理や運用に対する不安が払拭できず、通知カードの受け取りを拒否した人もいる。

マイナンバー制度は、利便性よりリスクのほうが大きいと考える。小諸市での普及状況等はどうか。

市長

通知カード配達時に不在であった方、受け取りを拒否した方などに返戻され保管されている通知カードは、11月末現在143件、本年10月末現在の申請件数は人口比約10%、交付済み件数は約9%になっている。

質問

来年度から原則すべての事業主が従業員の住民税を給与から差し引く特別徴収義務者に指定され、マイナンバーが記載された特別徴

収額の決定通知書が送付される。

今年上半期のマイナンバーの漏えいは27件、その半数以上の152件は今年から一部事業主に送付された通知書の誤配によるものだ。

名古屋市などはマイナンバーを記載しない通知書を送付しており、総務省は、記載しなくても罰則規定はないとしている。

市も事業主も負担が少ない記載しない通知書にすべきではないか。

総務部長

問題点は認識しており、疑問は持っているが、現時点では法令に沿ってやらざるを得ない。





子ども条例を制定する考えはないか！

小林重太郎

質問

小諸市の子ども支援策において、子どもへの権利の視点はありますか。

市長

子どもの権利条約が子どもの生存、成長、発達の過程で、特別な保護と支援を必要とする子どもの視点から示されたものであることを踏まえると、行政が行う各支援については、立案や実施段階において子どもの権利を意識することが大切であると考えている。

質問

明石市の条例は、一人ひとりの子どもに深く刺さっている。そのあたりをどう考えるか。

市長

先行して制定された条例（松本市、明石市など）を拝見して改めて感じることは、子どもを中心に据え、各主体が役割を分担し、果たすべき役割をしっかりと果たすことの重要性です。子どもの権利を保障するためには、家庭・地域・学校・行政などの各主体が、子どもを中心に据えるという認識を共

有し、共同して取り組むことが必要と考える。

質問

小諸市での子ども条例の制定にはどのような考えを持っているか。

市長

押しつけみたくない形よりも自発的な形で、市民とともに、子どもの権利というのはこういうものだというのを、多くの市民の皆さんに認識してもらいながら、例えば小林議員が中心になって、議員発議という形で子ども条例を提案していただくというのも一つのやり方ではないかと思う。



市民への情報公開・説明責任はどうか

神津眞美子

質問

平成24年11月に小諸厚生総合病院と締結した協定書では、駐車場について、建設は小諸市が行い、利用方法については別途協議する、となっていたがどうなったか。

建設部長

小諸市営有料駐車場施設の利用に関する協定書を先般11月30日に取り交わした。

質問

平成24年の協定書締結の際には、事前に案文が示され協議の場があったが、今回はそれが全くなかった。決まった後で協定書を締結したということの良いとの考えか。

建設部長

病院側の皆さんとの意見交換は、ずっと積み重ねてきて、開院前に結び、報告が遅れて申し訳ない。

質問

駐車場は市民のものなのに、議会に全然示さない中で締結してしまっただけで、締結した報告で良いのか、市長の見解は。

市長

議会等の審議も含めて、説明が足りなかった分は反省したい。

質問

コンパクトシティの核づくりが完成して、小諸のまちづくりも次のステージに進むがどうか。

市長

中心市街地の魅力再生の方針として、公共施設と総合病院のほか、商業施設や金融機関など、生活に必要な多様な都市機能が有機的に連携し合うことを目指す。それには市の行う拠点施設の整備のほかに、民間活力による賑わいの創出も不可欠となるので、市民間への間接的な支援も行う。



完成したコンパクトシティの核（相生公園から臨む）

一般質問



認知症への対策／「音楽のまち」こもろ

竹内健一

質問

訪問介護体制の現状と動向をどう見ているか。

市長

市内に2施設の特養が開設したことにより在宅介護者は一時的に減少したが、今後は高齢者の増加や独居高齢者が増加傾向にあることから、訪問介護のニーズが高くなる予想している。

質問

24時間体制の介護サービスの構築はできないか。

市長

現時点では、現状のサービスで対応できると判断しているが、平成32年度以降は需要状況を見極めながら整備・検討を行う。

質問

認知症高齢者の現状と施設への受け入れ対応はどうか。

市長

認知症高齢者日常生活自立度2以上の方は1千289人である。認知症の早期発見やその家族を支援する地域づくり、在宅生活を継続す



明治学院大学Xmas点灯式
(美南ガ丘小の児童)

きる環境整備を進めている。受け入れ施設は9か所整備されている。

質問

「音楽のまち」を目指す小諸市として、学校音楽部の環境整備と小諸高校音楽科との連携の現状はどうか。

市長

県大会以上の交通費と宿泊費の助成、指導者招聘に対する補助、楽器購入の基金等での支援がある。小諸高校吹奏楽部の演奏会に小諸市を招待したり、芦原中学吹奏楽部との合同演奏にて交流を図っている。今後も、更なる交流・連携が図れるよう努めていく。



小諸市と懐古園 そして寅さんについて問う

福島鶴子

質問

懐古園を観光客目線で見た時、馬場のトイレが全て和式は苦痛。早期対応が必要と思うがどうか。

市長

観光客目線での指摘を重く受け止め、早期に対応したい。

質問

懐古園内にある「寅さん会館」は、今どうなっているか。

経済部長

市として再開は困難との判断の中で、収蔵品の整理を考えている。

質問

小諸市と「寅さん会館」の関係はどう認識しているか。

市長

渥美清さんと親交の深かった市民のご縁で、寅さんのロケが行なわれ、多くのグッズや「国民栄誉賞」までが小諸にあると聞き、大変名譽な関わりを持たたと考えている。収蔵品の再展示が叶わない事は残念であると認識している。

質問

今後、小諸の観光の歴史にどう

残していこうと考えているか。

経済部長

小諸が寅さんのロケ地になったという歴史がある。そこを大事に何が残せるか、例えば、山田洋次監督の詩が刻まれている石碑等が残せないか調整している。

質問

県の第二期高校再編に向け、小諸高校と小諸商業高校の統合が同窓会を中心に動きを見せている。市としての受け止めはどうか。

市長

この動きは、県内でも最初の例であり、皆さんの意向を尊重してしっかり取り組んでいきたい。





障がい者福祉行政と就労支援への取り組みはどうか

中村憲次

質問

児童発達支援施設「ひまわり園」と「小諸市総合福祉センター」の二箇所での障がい者放課後等デイサービスについて、今後どのように取り組んでいくのか。

市長

30年4月1日より5年間、指定管理者によって運営される。今定例会で指定管理者が決定されるので、毎年の事業計画等を十分に精査しながら、障がい者支援の充実をめざしていきたい。

質問

小諸養護学校の本年卒業生の就職がいまだに決まっていない現状がある。小諸市における今後の就労支援への課題と対応はどうか。

市長

卒業児童の就労支援B型の事業所が不足している事は承知している。事業所の理解・協力を得ながら定員増に向けて、取り組みたい。

質問

行政として、障がい者雇用に向けた、図書館等の新規職場の創出

の検討を提案したいがどうか。

総務課長

小諸市は法定雇用率に達していないため、就業希望者とのマッチングの課題はあるが、障がいのある方に向けた様々な業務もある。特に臨時職員については、積極的に働きかけをして優先して受け入れたい。

● 次のことを行政へ提案した。

- ① 就労事業場所設置への取り組み
- ② 就労支援への啓発として、法定雇用率達成事業者への表彰規定の検討
- ③ 就労実習でのジョブコーチの支援と設置



市役所・病院駐車場、満車は絶対ダメです

高橋 公

質問

市役所周辺駐車場の満車対策については9月議会で提案済みで、行政として対策を実施中とのことだが、新病院オープン後の駐車場の実績はどうだったか。

市長

第1駐車場（市役所地下）は平日の午前9時～11時の時間帯はほぼ毎日満車状態になった。

それ以外の時間帯、および第2（西側）第3（赤坂）駐車場は満車状態にはならなかった。

質問

これらの満車対策についての市長の評価はどうか。

市長

病院にも協力して頂き、効果が出ていると捉えている。

質問

市役所・病院前のロータリーには秩序が絶対に必要である。

①ロータリー中央部のタクシースペースに停めて良い車種は何か。（宅配車・出入り業者は？）

②障害者用のスペースに車を停め



平日午前10:00の市役所ロータリー

ても良い条件はどうか。（もみじマーク車・足が痛いと言っ人は？）

③送迎のみの一般車両や満車時の待機希望車はどう案内するか。

④福祉車両のロータリー内待機は良いとするのか。

などのルールを明確にし、想定問答集などを作って、誘導員と市役所職員で共有してはどうか。

総務課長

有効な提案だと思うので、そのような想定問答集やマニュアルのようなものを作りたい。

また、それらについて職員も含めて周知の方法を考えていきたい。



太陽光発電に撤去費用の供託制度を

掛川 剛

質問

市内各地で林が伐採され、土地の形状を大きく変える造成工事が行われている。市の基本計画には「今ある自然環境や景観と調和した太陽光発電を目指す」とあるがどう思うか。

市長

自然環境との調和を地域住民との相互理解を進めていく。無作為な形で行われないうよう市長会等を通じて国へ働き掛けてきた。

質問

ガイドラインが施行されたが、施行前の届け出は指導するのか。

建設部長

助言できる状況であれば主導性をもって業者にお願いしていく。

質問

事業者が住民説明する際、どんな施設ができるかイメージできるように完成予想図が必要ではないか。

建設部長

全くそのとおりと認識している。

質問

地域住民との協定書のない場合

は、どのように経過説明したかを事業者だけでなく地域住民にも確認する必要があるかどうか。

建設部長

内部で検討させていただきたい。

意見

届け出は書面審査だけではなく現地確認が必要だと指摘しました。

質問

将来設置者が責任を持って撤去できるかが問題だ。撤去費用の供託制度が必要と考えるかどうか。

市長

考えていかないといけないが、一自治体では限界があるため、環境省に話をしている。



ずさんな造成工事で崩れた法面

小諸で活かしたいこと

総務文教委員会

総務文教委員会では小諸市における防災、子育てに関する課題を改善するために、他市を視察研修し、次のようにまとめました。

「防災マニュアルの作成と改善」

小諸市では避難所管理運営マニュアルが作成されていない。家庭用マニュアルは市民に活用してもらえよう工夫が必要。

鯖江市ではマニュアル等を地域ごとに住民参加で作成し災害に備えている。避難所マニュアルは基本編・実践編と詳細に作られ、家庭用ガイドブックは想定される災害を地域ごとに「逃げ時・逃げ道・逃げ所」と具体的に地図に示してある。ま

た防災士や防災リーダーが積極的に活動している。

活かしたいこと

◎防災マニュアルは、地域別にまとめて、地域別に配布する。また「逃げ時・逃げ道・逃げ場」を明記する。

◎防災士のネットワーク化と防災リーダーとしての活動を推進する。

例)の制定を検討する。

「不登校対策」

不登校は様々な状況に起因しているためきめ細やかな対応が必要となる。明石市では「未然防止・早期対応」が有効との認識で「ストップ不登校あかし」のシステムを全小中養護学校に導入し機能している。

欠席1日目・電話連絡2日目・家庭訪問、断続欠席でも対応できるように情報を共有している。

「こどもの立場に立った条例の検討」

小諸市には「こども条例」はない。

明石市では「子どもを核としたまちづくり」を推進し、理念は「すべてのこどもを、まちのみならず、総合的に支えあう」で、それを具現化した「子ども総合支援条例」を制定した。

◎小諸市でも「こども条例

活かしたいこと

◎小諸市でも「こども条例



避難所ごとに作成

福祉環境委員会

福祉環境委員会では、地域包括ケアシステムと放課後等デイサービスを課題として他市を視察研修し、次のようにまとめました。

STEMが確立されている。

・在宅診療支援室が入院後カンファレンスを実施し、在宅を見据えた看護ケアの取り組みをし、在宅支援につなげている。

活かしたいこと

◎病院・診療所・福祉施設間は「共存・協力」そして「協働」へ進められるよう、小諸市が主導体制をつくる。

「放課後等デイサービスの運用改善」

小諸市では、閉鎖するアスパラハウスに代わり、平成30年4月より「ひまわり園」で放課後等デイサービスを始める。
横浜市の民間施設「もみじのてKIDS 駒岡」では、

・職員の対応は明るく、きめ細やかであった。
・介護福祉士、保育士、ヘルパー資格者として

の自覚と責任で仕事に向き合っている。

・この事業の歴史は浅く、あるべき姿の検証などには課題も多い。

活かしたいこと

◎障がいの多様性から、一人ひとりの児童の成長とどう向き合えるかを検討し、発達支援プログラム の充実 に力を入れる。

◎保護者との連携、保護者支援（悩みの相談等）に力を入れる。

◎地域に開かれた事業運営で、地域から暖かい見守りを受けられるようにし、地域のボランティアの受け入れや地域との交流を密にする。



経済建設委員会

経済建設委員会では、

小諸市における農業振興、小諸ブランドの確立、移住定住の促進などを課題として他市を視察研修し、次のようにまとめました。

「小規模農地と担い手確保対策」

中山間地域等の農業離れ、耕作放棄地や空き家の増加を踏まえ、小規模農地の流動化を図るとともに担い手確保対策を講ずる必要がある。

国の中山間農業改革特区の指定を受けている兵庫県養父市では、農業委員会制度の改革など様々な対策を打ち出している。

活かしたいこと

◎中山間地域の農地所有の下限面積を10aに引き下げる。
◎空き家に付属する農地は下限面積なしとする。
◎耕作放棄地と空き家をセットで用意し、就農

を希望する地域おこし協力隊員を採用する。

「地域ブランド戦略」

小諸の魅力的な商品やサービスを発信するブランド戦略の仕組みが確立されていない。

兵庫県養父市では「養父の太鼓判」ブランド認定制度、岡山県美作市では「棚田再生」をブランド化。

活かしたいこと

◎ブランド戦略を推進する体制を構築する。
①小諸ブランドのコンセプトを確立する。
②ブランドづくりを推進する母体を組織化する。
③小諸ブランド推奨品の認定基準の確立と統一マークを制定する。

「移住定住推進策」

小諸市は担当する専門要員が少なく、体験施設は市街地に1箇所しかない。移住定住希望者へのアピールも弱いのではな

いか。

移住定住全国ランキングトップの鳥取県鳥取市では、「Uターン支援制度」「移住交流情報ガーデン」「9棟の移住体験施設」など早くから取り組み、成果を上げている。

活かしたいこと

◎担当部署の体制を充実させ、専門要員を嘱託職員などで増員する。
◎小諸の良さを体験できる施設を、空き家などの活用で地域毎に整備する。
◎生活面での利便性や子育て、教育など、小諸市の優位性をより強くアピールする。



岡山県美作市上山地区・棚田再生の様子

予算決算委員会の設置について

議会制度改革検討委員会

3月議会より予算決算委員会を設置

議会の重要な役割の一

つに、市民の皆さんから預かっている税金が、公平、適切に使われているかをチェックするという事があります。それには年度当初示される予算案（3月議会審査）、決算終了後の決算案（9月議会審査）があり、必要に応じて補正予算案の審査等があります。

小諸市議会では、今まで全てを三つの委員会に分割して審査してきました。しかし近年、これは「議案不可分の原則」にふれ、好ましい事ではないとの認識の下、予算と決算を一つの議案として扱う「一括審査方式」をとり入れる議会が増えて

きました。

「分割」で審査する場合、自分が所属する委員会以外の審査に加われないことから、結果として、予算決算を通じて政策全体を一体化、複眼的に見通す事が難しく、議会機能の低下につながる弊害もあります。

このような状況の中、議会制度改革検討委員会では、議長の諮問を受けて予算・決算審査の方法につき9回の委員会を開催し、どんな方法が望ましいかを調査、研究してきました。その間、県内で既に「一括審査方式」をとっている4市議会（諏訪・岡谷・須坂・東御）を視察。それぞれの

課題や、メリット、デメリットについても研究、議論を重ねてきました。

その結果、小諸市議会として

● 予算、決算審査は、議長を除く全議員で構成する「予算・決算常任委員会」を設置し、一括付託による審査とすること。

● より詳細な審査、調査を可能にするため、審査は分科会方式（3分科会）で行うこと。
等が決まり、運営に必要な要綱も策定されて平成30年3月議会から実施することとなりました。

議会運営委員会は、4月に議長より議員定数の検証について諮問を受け、12月定例会まで7回の委員会を開催し、各会派及び各常任委員会の検討結果、市民アンケート結果、類似市との比較データ等をもとに、適正な定数について検証を行いました。

議員定数は現状維持

○各常任委員会の意向
「活発な審議を行うためには、1委員会最低でも6名は必要である。」

「定数を増やすことは現実ではないため、3常任委員会とするなら1委員会6名で、定数は現状維持が適当と考える。」等

○市民アンケート結果
議員の役割として「市民の声の代弁者と地域の声に応える役」という声が多数を占めている結果を踏まえ、そのためにはある程度の議員数を確保する必要があると分析。

○類似市との比較
「合併協議の中で極端に

議員定数の検証について

議会運営委員会

定数を減らした自治体もあるが、その結果、弊害も出ている、定数減については慎重に検討する必要がある。」等

以上の結果を踏まえて当委員会で議論を重ねた結果、「議会機能を発揮し市民の意見を確実に行政に届けるためには、1常任委員会最低6名は必要であり、現在の3常任委員会ならば、次期においても現状維持の19名が適当である。」という結論に達しました。

なお、類似市との比較検討や市民の意向調査を行うなど、議会基本条例に基づき、引き続き検証を行ってまいります。



ぼいす

第3回

キラキラ★小諸人

御影天領太鼓のみなさん

今回は、「御影天領太

鼓」の皆さんをお訪ねしました。天領太鼓は平成18年秋に結成され、現在は小学校4年生から46才までの幅広い15名のメンバーで構成されています。

現在、オリジナル曲が6曲あり、週一回の練習をしています。女性が少ないので入ってほしいとの希望もありました。

Q1 天領太鼓を結成した理由は何ですか。

30年以上続く道祖神祭り盛り上げたいという思いから結成しました。

Q2 天領太鼓に入った理由は何かですか。

リーダーの吉田さんは「打楽器が好きで、和太鼓にも興味があったので入った」とのこと。他の皆さんも「音楽が好きで仲間が入っているので」

という方が多数でした。

Q3 参加して良かった点は何かですか。

「同じ趣味を持つ仲間と家族ぐるみの付き合いができる。」小学生の皆さんからは、「太鼓の練習や演奏も楽しいが、皆で行う焼肉会が楽しんだ」との声もありました。

Q4 今後の目標は何ですか。

現在は、太鼓の先生に作曲依頼したオリジナル曲ですが、自作曲を増やして文化センター等でコンサートを行いたい。

Q4 小諸市に期待することは何かですか。

「音楽のまちこもろ」を推し進めているので、太鼓を含めた音楽を行う団体等への支援により、音楽団体の充実を図っていただきたい。

天領太鼓の皆さんは、

太鼓が大好きな方が集まり演奏技術向上に日々努力しています。その成果を披露したいという思いもありますので、地区の催し物等で和太鼓を演奏してほしいと希望する方は、連絡をしてみてもいいでしょうか。

〔連絡先〕 土屋佳生さん
☎090・9660・7201



練習の様子

傍聴席



御牧ヶ原 依田みずき さん

20代後半になり、初めて議会を傍聴しました。12月の議会で、関心のある問題についての質問があったので、友人達と傍聴に行きました。議員さんの質問はまる

で私が普段思っているような疑問をそのまま言葉にしてくれて、それに対して行政は方針や展望、現状を答え、とても迫力のあるものでした。議員さんは市民の声を聞いて、行政に届けてくれていました。そして、その議員さんを選ぶ選挙というものがいかに重要なものかと思いました。議会の傍聴をすることによって小諸市の良い点も、改善点も両方知ることができ、そこからさらに市民としてこれからの小諸市には何が必要なのか、どのような問題意識を持たなければならぬのか、そのようなことを考えるきっかけとなりました。最後に、市民は無力だと思っていました。でも、市民の声を少なからず届けてくれる議員さんがいて、それに答えてくれる行政の姿を見て大変頼もしく思いました。

編集後記

今回の議会だよりでは、行政視察研修で学んだことをどのように小諸市で活かせるか、各委員会で見察内容をまとめましたのでご覧いただきたいと思えます。さて、昨年末、大きな出来事が二つありました。一つ目は、コンパクトシティのひとつの核である浅間南麓こもろ医療センターが開院したこと。二つ目は、もうひとつの核である商業施設のツルヤ小諸店が一時休業を表明したことです。

今後、周辺商業地域をはじめ小諸市の経済への影響が懸念されます。地元の女性たちも「ツルヤ小諸店の早期営業再開等を求める署名」に取り組み、僅か10日ほどで3千名を超す署名を集めたとなりました。行政と議会は、市庁舎・病院間題の教訓を活かし、市民の声が反映されるよう取り組みなければなりません。両者が真剣に知恵を出すときではないでしょうか。

(聖)

印刷/コタ印刷サービス株式会社